

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	1311051000594
施設名	BunBu学院Jr.中目黒園
施設所在地	東京都目黒区青葉台1-15-14
法人名	株式会社BunBuKids

1. 活動のテーマ

<テーマ>

五感

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

めろん組では、落語の活動や世界の偉人について学ぶなど、文化や歴史に触れる活動を日頃から行っています。そこで今回は、日本の伝統文化の一つである「茶道」を体験することで、日本ならではの礼儀や美しさ、静かな空間の雰囲気を感じてもらいたいと考えました。普段とは違う和の空間の中で、五感を使いながら日本文化に親しむことを目的としてテーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

- ・事前に茶道について簡単に紹介
- ・茶道体験の場所へ移動
- ・先生へ挨拶
- ・茶道の説明（作法や道具について）
- ・お茶を点てる様子を見学
- ・和菓子とお茶をいただく体験

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

茶道体験では、和室の静かな環境の中で活動を行いました。子どもたちが落ち着いて体験できるよう、事前に茶道の流れや簡単な挨拶の仕方を園で伝えました。また、初めて見る茶道具や和菓子に興味を持てるよう、事前に写真などで紹介し、期待感を高めました。伝統的な空間の雰囲気を感じながら、五感を使って体験できる環境を整えました。

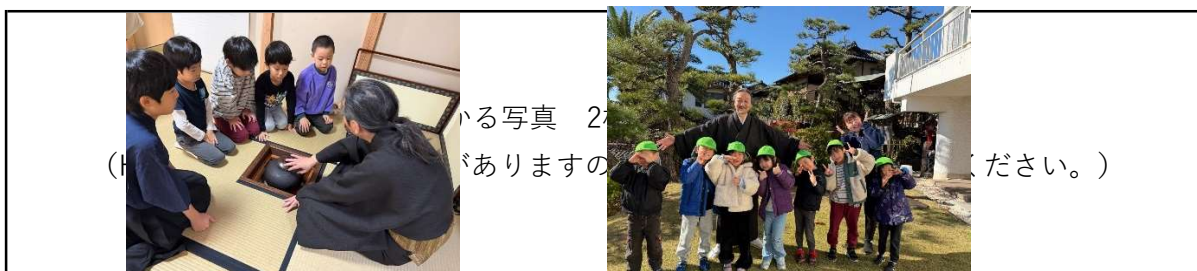
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

初めて見る和室や茶道具に「きれいだね」「これ何?」と興味津々の様子でした。お茶をいただく際には、少し緊張した表情を見せながらも、友達と顔を見合わせて笑い合う姿も見られました。「お茶ちょっと苦いけどおいしい」「お菓子甘いね」など感想を伝え合う姿もありました。保育者は子どもたちの気づきに寄り添いながら、文化や歴史の話を分かりやすく伝えました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

初めて見る和室や茶道具に「きれいだね」「これ何?」と興味津々の様子でした。お茶をいただく際には、少し緊張した表情を見せながらも、友達と顔を見合わせて笑い合う姿も見られました。「お茶ちょっと苦いけどおいしい」「お菓子甘いね」など感想を伝え合う姿もありました。保育者は子どもたちの気づきに寄り添いながら、文化や歴史の話を分かりやすく伝えました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段とは違う静かな空間での体験でしたが、子どもたちは興味を持ちながら真剣に参加していました。五感を使った体験は子どもたちの印象にも残りやすく、日本文化への関心を深める良い機会になったと感じました。また、実際に見て・聞いて・味わう体験が、子どもたちの学びや気づきを広げることを改めて実感しました。今後も様々な文化体験を取り入れ、子どもたちの探究心を育てていきたいと思います。